

聖句の裏づけ

1) キリストに関する預言

申命記 18:15 あなたの神、主はあなたのうちから、あなたの同胞のうちから、わたしのようひとりの預言者をあなたのために起されるであろう。あなたがたは彼に聞き従わなければならない。

創世記 3 : 15 彼はおまえのかしらを砕き、（イブへの約束） **創世記 22 : 18** また地のもろもろの国民はあなたの子孫によって祝福を得るであろう（アブラハムへの約束）

出エジプト記 1 2 章 過ぎ越しの子羊

レビ記 1 6 章 贖罪身代わりのヤギ

民数記 21:9 モーセは青銅で一つのへびを造り、それをさおの上に掛けて置いた。すべてへびにかまれた者はその青銅のへびを仰いで見て生きた。

キリストに私たちの罪をつけたことを意味する

民数記24:17 ヤコブから一つの星が出、イスラエルから一本のつえが起り

民数記 20:11 モーセは手をあげ、つえで岩を二度打つと、水がたくさんわき出たので会衆とその家畜はともに飲んだ。

第1コリント 10:4 みな同じ霊の飲み物を飲んだ。すなわち、彼らについてきた霊の岩から飲んだのであるが、この岩はキリストにほかならない。

イザヤ 7:14 それゆえ、主はみずから一つのしるしをあなたがたに与えられる。見よ、おとめがみごもって男の子を産む。その名はインマヌエルとなえられる。

イザヤ 9:6 ひとりのみどりごがわれわれのために生れた、ひとりの男の子がわれわれに与えられた。まつりごとはその肩にあり、その名は、「霊妙なる議士、大能の神、とこしえの父、平和の君」ととなえられる。

イザヤ 40:10-11 見よ、主なる神は大能をもってこられ、その腕は世を治める。見よ、その報いは主と共にあり、そのはたらきの報いは、そのみ前にある。

40:11 主は牧者のようにその群れを養い、そのかいなに小羊をいだし、そのふところに入れて携えゆき、乳を飲ませているものをやさしく導かれる。

イザヤ 50:6 わたしを打つ者に、わたしの背をまかせ、わたしのひげを抜く者に、わたしのほおをまかせ、恥とつばきとを避けるために、顔をかくさなかった。

イザヤ 53:4 まことに彼はわれわれの病を負い、われわれの悲しみをになった。しかるに、われわれは思った、彼は打たれ、神にたたかれ、苦しめられたのだと。しかし彼はわれわれのとがのために傷つけられ、われわれの不義のために砕かれたのだ。彼はみずから懲しめをうけて、われわれに平安を与え、その打たれた傷によって、われわれはいやされたのだ。

エレミヤ書 23:5 主は仰せられる、見よ、わたしがダビデのために一つの正しい枝を起す日がくる。彼は王となって世を治め、栄えて、公平と正義を世に行う。

エレミヤ書 33:14-15 その日、その時になるならば、わたしはダビデのために一つの正しい枝を生じさせよう。彼は公平と正義を地に行う。

エゼキエル書 34:23 わたしは彼らの上にひとりの牧者を立てる。すなわちわがしもべダビデである。彼は彼らを養う。彼は彼らを養い、彼らの牧者となる。

ミカ書 5:2 あなたはユダの氏族のうちで小さい者だが、イスラエルを治める者があなたのうちからわたしのために出る。

ゼカリヤ書 9:9 見よ、あなたの王はあなたの所に来る。彼は義なる者であって勝利を得、柔和であって、ろばに乗る。すなわち、ろばの子である子馬に乗る。

ゼカリヤ書 12:10 彼らはその刺した者を見る時、ひとり子のために嘆くように彼のために嘆き、ういごのために悲しむように、彼のためにいたく悲しむ。

ゼカリヤ書 13:7 万軍の主は言われる、「つるぎよ、立ち上がってわが牧者を攻めよ。わたしの次に立つ人を攻めよ。牧者を撃て、その羊は散る。わたしは手をかえして、小さい者どもを攻める。

マラキ書 3:1 「見よ、わたしはわが使者をつかわす。彼はわたしの前に道を備える。またあなたがたが求める所の主は、たちまちその宮に来る。見よ、あなたがたの喜ぶ契約の使者が来ると、万軍の主が言われる。

マラキ書 4:2 しかしわが名を恐れるあなたがたには、義の太陽がのぼり、その翼には、いやす力を備えている。

ルカの福音書 24 : 27

こう言って、モーセやすべての預言者からはじめて、聖書全体にわたり、ご自身についてしてある事どもを、説きあかされた。

2) 聖書の中の科学的な陳述

①要素

ヘブル書 11:3

信仰によって、わたしたちは、この世界が神の言葉で造られたのであり、したがって、見えるものは現れているものから出てきたのでないことを、悟るのである。

当時の彼らは、眼鏡や顕微鏡を持っていなかったので、この陳述は深いです。

ペテロ第2の手紙 3:10-13

しかし、主の日は盗人のように襲って来る。その日には、天は大音響をたてて消え去り、**天体**は焼けてくずれ、地とその上に造り出されたものも、みな焼きつくされるであろう。 **3:11** このように、これらはみなくずれ落ちていくものであるから、神の日の到来を熱心に待ち望んでいるあなたがたは、 **3:12** 極力、きよく信心深い行いをしていなければならない。その日には、天は燃えくずれ、**天体は焼けうせてしまう**。 **3:13** しかし、わたしたちは、神の約束に従って、義の住む新しい天と新しい地とを待ち望んでいる。

ELEMENTS stoicheion , NT:4747), **primarily signifies any first things from which others in a series, or a composite whole take their rise; the word denotes "an element, first principle" (from stoichos, "a row, rank, series"; cf. the verb stoicheo, "to walk or march in rank"**

構成されているものの微小部品または部分、または配合されている物のシンプルな部分。要素とは、物の一番最初の部分

②血

レビ記 17:11 肉の命は血にあるからである。あなたがたの魂のために祭壇の上で、あがないをするため、わたしはこれをあなたがたに与えた。血は命であるゆえに、あがなうことができるからである。

Blood letting 放血

放血は、19世紀後半まで、古代からの外科医によって行われる最も一般的な医療行為で、ほぼ2000年の間、行われた医療行為でした。

米国初の大統領ジョージ・ワシントンは、喉の感染（医療）治療として 10 時間以内に彼の体から 3.75 リットルの血液を除去した後に死亡しました。

③ 侵食

ヨブ記 14:19 水は石をうがち、大水は地のちりを洗い去る。このようにあなたは人の望みを断たれる。

④ 丸い地球

ヨブ記 26:7 彼は北の天を空間に張り、地を何も無い所に掛けられる。

箴言 8:27 彼が天を造り、海のおもてに、大空を張られたとき、わたしはそこにあった。

イザヤ 40:22 主は地球のはるか上に座して、地に住む者をいなごのように見られる。主は天を幕のようにひろげ、これを住むべき天幕のように張り、

ルカの福音書 17:34-37 あなたがたに言うておく。その夜、ふたりの男が一つ寝床にいるならば、ひとりを取り去られ、他のひとは残されるであろう。 **17:35** ふたりの女が一緒にうすをひいているならば、ひとりを取り去られ、他のひとは残されるであろう。 [**17:36** ふたりの男が畑におれば、ひとりを取り去られ、他のひとは残されるであろう] 」。 **17:37** 弟子たちは「主よ、それはどこであるのですか」と尋ねた。するとイエスは言われた、「死体のある所には、またはげたかが集まるものである」。

寝床にいる人達は、夜の時間帯。うすひきは早朝の時間帯。畑仕事は、日中の時間帯。これは、それぞれのイベントが異なるタイムゾーンで同時に起こることを示しています。

水の循環

伝道者の書 1:6-7 風は南に吹き、また転じて、北に向かい、めぐりにめぐって、またそのめぐる所に帰る。 **1:7** 川はみな、海に流れ入る、しかし海は満ちることがない。川はその出てきた所にまた帰って行く。

ヨブ記 36:27-29 見よ、神は大いなる者にいまして、われわれは彼を知らない。その年の数も計り知ることができない。彼は水のしたたりを引きあげ、その霧をしたたらせて雨とされる。空はこれを降らせて、人の上に豊かに注ぐ。だれか雲の広がるわけと、その幕屋のとどろくわけとを悟ることができようか。

詩編 135:7 主は地のはてから雲をのぼらせ、雨のためにいなづまを造り、その倉から風を出される。

エレミヤ書 10:13 彼が声を出されると、天に多くの水のざわめきがあり、また地の果から霧を立ちあがらせられる。彼は雨のために、いなびかりをおこし、その倉から風を取り出される。

コロサイ人への手紙 1:16-18 万物は、天にあるものも地にあるものも、見えるものも見えないものも、位も主権も、支配も権威も、みな御子にあって造られたからである。これらいっさいのものは、御子を通して造られ、御子のために造られたのである。彼は万物よりも先にあり、万物は彼にあって成り立っている。そして自らは、そのからだなる教会のかしらである。彼は初めの者であり、死人の中から最初に生れたかたである。それは、ご自身がすべてのことにおいて第一の者となるためである。

この聖句の箇所を“彼によって”と読むと、その深さと風味を失います。彼を通して、私たちは栄光から栄光へと変えられていきます。